

高P連会報

発行者 宮城県高等学校PTA連合会
 仙台市宮城野区幸町4-5-1
 宮城県青年会館内
 TEL・FAX 022-299-4621
 E-mail: miyagikopren@ia2.itkeeper.ne.jp

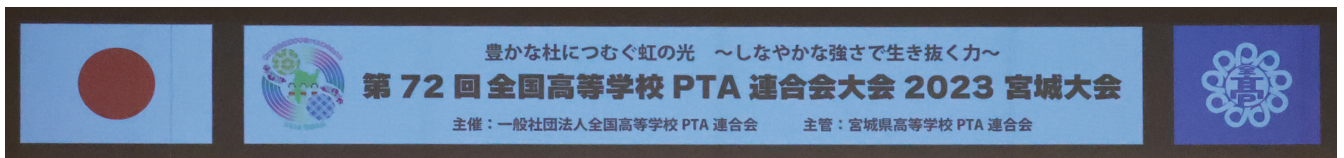
印刷 創文印刷出版株式会社
 仙台市青葉区春日町8-34
 TEL 022-222-0181

発行日 令和6年2月22日(木)

熱気！開催 宮城大会

一待ちに待った宮城大会、暑い夏をさらに熱く、盛大に開催される一

第72回全国高等学校PTA連合会大会2023宮城大会が、令和5年8月24日・25日の両日、メイン会場であるカメイアリーナ仙台（仙台市体育館）をはじめ仙台市内6会場において、全国からの参加者そして県内参加者及び大会運営スタッフの総勢約6,000名の参加者と246校のオンライン参加校を得て、盛大に開催されました。連日の猛暑の中、暑さにも負けない参加者の熱意で充実した2日間となりました。





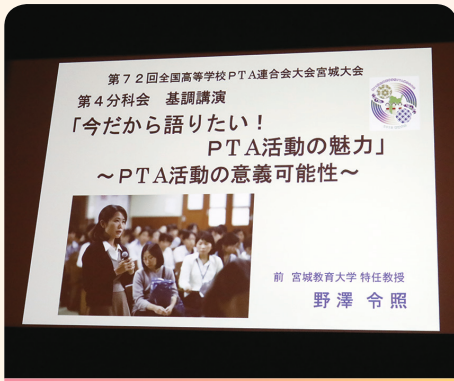
第1分科会
東京エレクトロンホール宮城(県民会館)



第2分科会
カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)



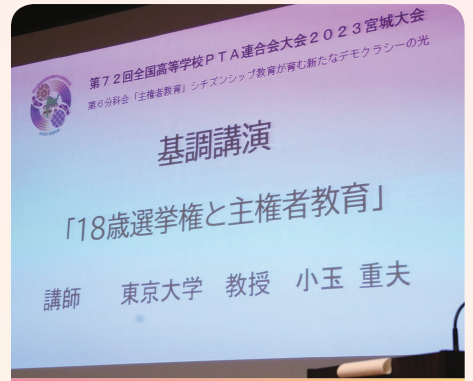
第3分科会
トークネットホール仙台(仙台市民会館)



第4分科会
仙台国際センター



第5分科会
仙台サンプラザホール



第6分科会
川内萩ホール(東北大学百周年記念会館)

1日目の教育視察3コース(松島町・名取市閑上・東北大学)と6つの分科会は、どれも定員を超えるほどの参加申込があり、各会場ごとの運営担当として各支部・各担当校の運営スタッフの皆さんが、明るく丁寧に参加者を迎えていただきました。

2日目の全体会では、表彰式の中で、優良PTA文部科学大臣表彰に仙台第三高等学校PTA、全国高P連会長表彰に石巻西高等学校PTAと気仙沼向洋高等学校PTAが、それぞれ表彰されました。さらに、記念講演では、仙台育英学園高等学校硬式野球部監督の須江航先生から、「伝わる言葉～失敗から学ぶ～」と題して、昨年の甲子園優勝そして今年の甲子園準優勝にチームを導くまでの取組を熱く語っていただきました。全体会会場の仙台市体育館のメインアリーナには、2階・3階席にも入りきれないほどの多くの参加者が詰めかけ、立ち見の方も数多くいる中、須江監督のお話にたくさんの方が真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。

閉会式では、大会実行委員長である町田さやか県連会長からの胸に迫る挨拶があり、その後、次期開催県の茨城県高P連板倉哲男会長から水戸黄門に扮しての来県アピールと大会旗の受け渡しをもって宮城大会は終了しました。大会に関係していただいた県内外の多くの皆様に、感謝申し上げます。ありがとうございました。



教育視察 (震災遺構見学と東北大学キャンパスツアー)



震災遺構(名取市閑上)見学



松島復興語り部クルーズ



東北大学工学部見学



東北大学災害科学国際研究所見学

令和5年度単位PTA事務局長研修会

今年度の単位PTA事務局長研修会は、県北支部事務局校の気仙沼向洋高校の主管の下、令和5年12月8日（金）午後2時から気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（旧気仙沼向洋高校）を会場として開催されました。各校の事務局長83名を含む98名が参加しました。

前半の講演では「東日本大震災から得た教訓と今後の備えについて～東日本大震災時における向洋高等学校（生徒・職員）の避難動向を踏まえて～」と題して、気仙沼向洋高校に長く教員として勤務し、東日本大震災時には非常勤講師として勤務して実際に震災対応にも当たられ、現在は気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の館長を勤めておられる芳賀一郎様を講師として講演が行われました。芳賀様からは、当時の気仙沼向洋高校では、職員・生徒の「危機管理意識が高く」、「避難マニュアルが把握」され、かつ場面に応じて迅速に個々の避難行動に取り組めたこと、過去の地震・津波の経験から校内の重要備品の保管場所を上階に移動していたこと等により、唯一人も人的な被害なく乗り切ることができたことを説明していただき、あらためて日頃の備えの大切さが痛感されました。

後半は、現在、気仙沼市東日本大震災遺構となっている旧気仙沼向洋高校の被災校舎を、4つのグループに分かれて、伝承館の語り部の方の説明を聞きながら見学しました。津波が押し寄せからっぽになった1階と2階・3階の教室に残る惨状、近隣から流されて来た自動車、教室に残されたままの教科書や書籍、津波が来て下の方だけ錆びている4階教室のレターボックス、校舎から出ると、屋根がまるごと流された体育館、校舎の間に折り重なって固まる5台の自動車、そして流されて来た冷凍倉庫がぶつかって破壊された校舎の4階の壁など、震災と津波の威力をリアルに伝える貴重な施設を見学させていただきました。

県内には何カ所かの震災遺構がありますが、やはり、それぞれの現地でしか見られないもの、現地だからこそ感じられることがあると思います。まだの方は、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。



支部会員研修会

仙南支部

事務局長 熊谷 郁
12月10日（日）にかくだ田園ホールにて仙南支部会員研修会を行いました。インフルエンザが流行しているため、昨年同様講演のみとし、東北福祉大学教授 三浦剛様に「高校生のしつけ?! 行動理論から」と題して講演をいただきました。「子どもにとって安全であることは、生理的欲求に次ぐ基本的な欲求です。親が一貫性をもち小さなルールを決めることで、安心して新たな事に向かうことができる。そのルールを基に親が手本を示し、必要な情報を提供することで、優れた道徳性を得られ、適切な判断をすることの手助けとなる」という内容でした。参加者の感想は、「一貫性のある環境が大切であることが分かった」「内容が分かりやすくてとても参考になった」「即実践してみたい」など大変好評でした。

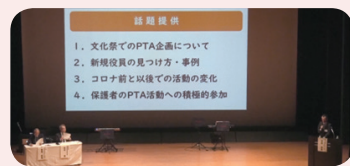


ある環境が大切であることが分かった」「内容が分かりやすくてとても参考になった」「即実践してみたい」など大変好評でした。

県北支部

事務局長 小野寺隆平
11月10日（金）、気仙沼中央公民館（ホール）を会場に、約39名の会員の皆様にご参加いただき、県北支部指導者研修会を開催しました。来賓として、県高P連事務局長佐藤誠様、事務局伏見裕子様をお迎えいたしました。

事例研究は、一迫商業高校PTA会長菅原勇喜様より、「文化祭でのPTA企画について」、「新規役員の見つけ方・事例」、「コロナ前と以後での活動の変化」などの観点から発表をおこなっていただきました。



講演会では、地元気仙沼を拠点に音楽活動をしている『LOVE SONGERS』のメンバーで、代表の小山紀子様より「音楽でつなぐ人と人」と題しての貴重な講演と、『LOVE SONGERS』のメンバー4名によるオリジナル曲を交えた素敵な演奏や歌声を披露していただきました。



2023宮城大会の余韻冷めやらぬ中での開催でしたが、あらためて県北支部PTA会員の皆様と有意義な時間を共有することができ、充実した研修会になったことと思います。

第3回常任理事会報告

第3回常任理事会が、宮城県青年会館を会場に令和6年1月11日(木)午後2時から開催され、令和5年度事業中間報告、令和6年度の活動方針案と行事計画案、県連役員案、全国・東北地区表彰の推薦などについて協議されました。

令和6年度 宮城県高等学校PTA連合会 行事計画案

2024/2/14現在

Table with columns: 月, 日, 県, 東北, 全国. Contains a detailed calendar of events for the 2024 fiscal year, including meetings, conferences, and regional events.

令和6年度 宮城県高等学校PTA連合会役員案

Table with columns: 役職名, 氏名, 所属校, 支部/委員会, 健全育成, 進路対策, 調査広報. Lists proposed officers and committee members for the 2024 fiscal year across various regions.

令和7年度 第74回東北地区高P連仙台大会 に向けた開催準備スタート

令和6年度東北高P連大会は、7月4日(木)・5日(金)にやまぎん県民ホール(山形市)を会場に開催されます。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

今年度、常任理事会に合わせて2回の準備委員会を開催し、大会の概要を協議してきました。今後は、大会運営組織、役員構成、予算、テーマ等の、より具体的内容を決めていくこととなります。

宮城県高P連創立70周年記念式典 みやぎ高校PTAフェスティバル2024

令和6年度は、宮城県高P連が昭和29(1954)年に創立されてから70周年を迎える年になります。前回の60周年記念式典と同様に、10月22日(火)に日立システムズホール仙台を会場として開催する「みやぎ高校PTAフェスティバル2024」に合わせた創立70周年記念式典を開催する予定です。

広報紙コンクール結果

— 東北地区コンクール 気仙沼高 優秀賞 —

- 宮城県コンクール審査結果 優秀賞(5校) ※宮城野高 ※気仙沼高 ※仙台商業高 古川高 小牛田農林高 (※は東北地区高P連コンクールへ) ●東北地区コンクール審査結果 気仙沼高 — 優秀賞 仙台商業高 — 優良賞 宮城野高 — 優良賞

編/集/後/記

コロナ明けでPTA活動が本格的に再開した令和5年度、記憶や記録がなかったりして戸惑うことも多かったかも知れませんが、宮城大会を乗り切った経験とノウハウをこれからに継承して、より充実したPTA活動を作り上げていきたいものです。